



## 2. 転倒転落

入院患者の転倒・転落インシデント防止は医療機関にとって非常に重要なテーマです。転倒・転落インシデントは外傷や骨折につながり、患者に大きな影響を及ぼします。しかし、一方で転倒転落防止の為に過剰な身体抑制を行うことは、患者の人権を侵害し、患者の身体能力の低下にも大きく影響するため、バランスのとれた管理を行いながら、患者の評価・介助・見守りを強化する事が求められます。

本年は、回復期リハ病棟が開設された10月以降、転倒転落件数は増加しました。活動性の高い患者の増加が背景にあります。

回復期病棟では「ADL カンファレンス」を行い、入棟患者の身体能力の早期評価・共有の強化に取り組んでおります。

